

日中友好新聞

創刊 1953年

発行所 日本中国友好協会
〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-2-3
浅草橋55ビル
電話 03(5830)2140(TEL)
FAX 03(5830)2141
http://www.jcfk.or.jp
E-mail:okayama@jcfk.or.jp
社印 00119-1-21176

日中友好協会 岡山支部
〒708-0034 岡山市北区下伊福
西町1-53 民主会館1F
TEL: FAX 0861 250-5806

日中友好協会 倉敷支部
〒713-8031 倉敷市福河町東32461-45
TEL: FAX 0861 411-7800

第8回井笠支部準備会が開かれました。

真田

日中国交回復50周年記念講演会の進行計画について、8月30日(火)に出部公民館で、標記の会が開かれました。

参加者は井原市から鳥越さん、原田さん、笠岡市から三好さん、里庄町から佐藤さん、美星町から木尾さん、浅口市から沖原さん、岡山支部から河井さんと真田、倉敷支部から宇野さんと犬飼さんの10人でした。

11月3日に出部公民館で開催される日中国交回復50周年記念講演会について、チラシに載せる宣伝文と、裏面の大西広先生のプロフィールを確認しました。

特にチラシに掲載する井原市と井原市教育委員会の後援がいつ取れるのか、話題になりました。通常なら申請から2,3日で回答があるようですが、今回は遅くなっています。理由は市長選が近いからではないかとの話でした。

後援があれば井原市内で、チラシを置かせてもらう場所が増えます。

次に講演会以外の、展示物と、太極拳の表演について話し合われ

ました。展示物は内山完造氏の写真と、過日井原市に贈呈した内山完造氏の額装の書、または写真。倉敷支部が所有している内山完造氏の色紙などです。

太極拳の表演については、岡山支部の小川さんと吉岡さんが行うことになっています。また、その後、井原氏の太極拳をやられている市民の皆さんとの合同表演ができないかとの話になりました。

チラシは3000枚作ることにになりました。それぞれの地域で赤旗などに折り込んでもらう手はずになりました。ポスターはチラシを拡大コピーして対応することになりました。

マスコミ対応は、井原放送というケーブルテレビに生出演して宣伝できるそうです。その他中国新聞や山陽新聞に働きかけることになっています。

今回は9月23日(金)14時から、出部公民館が開かれます。その時には、チラシも各支部・各地域に渡されます。



日中国交回復50周年記念講演会

ウクライナ問題をめぐる世界の分断と中国の役割

—新疆問題、台湾問題とも関わって—

講師 慶應義塾大学名誉教授・京都大学名誉教授
大西 広先生 (裏面プロフィール)

今回のウクライナ戦争は戦後の「冷戦システム」の再現なのでしょうか。また、経済援助を手段に影響拡大を続ける中国の戦略とはどのような関係にあるのでしょうか。ところで、中国の「脅威」、「台湾有事」の論調・報道が流され、日米同盟の拡張・強化や軍備増強が急速に進められています。

日中国交回復50周年の記念すべき節目に当たり、今一度、過去の歴史に学び、冷静に、日本、中国の関係を見直し、国連憲章や日本国憲法および日中共同声明の基本的視点で捉えなおすことが重要です。

国際的にも活躍されている経済理論家であり、中国の少数民族問題の第一級の専門家をお招きし(コロナ禍で映像形式によりますが)、当面の課題についてご講演をいただきます。

井原市は、日中国交正常化に絶大な尽力をされ、両国の友好交流関係の土台を据えられた内山完造さんの出身地であり、まことに意義深いものと思われま。

目から鱗(ウロコ)が落ちることでしょう。多数のご来場を、お待ちしております。

日時 2022年 11月3日(木) 受付13時30分一、講演14時開始

16時 太極拳表演

場所 井原市出部(いづえ)公民館 2階多目的ホール 資料代 200円
井原市上出部町1219-2 TEL:0866-62-3960 (裏面地図参照)

主催 日本中国友好協会 井笠支部準備会・日中友好協会岡山支部連合会
後援 井原市、井原市教育委員会
連絡先 岡山市北区下伊福西町1-53、岡山県民主会館内 TEL&FAX: 086-250-5806

帰国者2世支援活動についての報道の紹介(8月11日)

FAX)

帰国者2世支援活動に関しては、マスメディアが高い関心を示し、4月の国会請願以降に取材が相次いでいることが、福岡県連の星野

さんから報告されました。

この取材を踏まえての当面の報道予定ですが、NHKが、9月24日のNHKスペシャル(夜10時〜10時49分)で「帰国者問題」を送るとのことです。

また、中国のCCTVも5月に取材しており、近いうちに放送予

定。

毎日新聞は帰国者3世のアンケートを集約中で、9月に報道する予定とのことです。

これらの報道は、必ずや支援運動を後押ししてくれると思いま

日本中国友好協会
事務局長 矢崎 光晴

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



私と日中」日中友好協会倉敷支部理事長 大本芳子

姉妹都市調印式に参加して②

いよいよ姉妹都市調印式

中国と日本の時間差は、一時間です。日本が午前八時の時、中国では午前七時です。私たちは七時に朝食をとり、昨日と同じ専用バスに乗り込み、パトカーの先導で、まず人代（中国の議会、詳しくは人民代表部）へ表敬訪問に。

人代の建物は質素で廊下などとても寒々としていました。廊下の壁には、議員全員の顔写真が額に入れられて掲示されています。日本のように議長と副議長のみが、大きな額入りで掲示されているのとは違って、議員一人一人が平等な扱いです。

帰国後の一二月議会での訪中報告の中でこのことに触れました。さっそく当時の議長の肝いりで鎮江市のような写真が議会棟入り口に掲示されました。今この写真は、他都市からの来訪者に好評で、「うちでもぜひやりたい」と写真撮る方々が多いそうです。前にも書きましたが、私は訪中団の中ただ一人の女性であり、しかも共産党員であるということでも随分歓迎され、座席の位置も高いところだったと、後で同行の職員が話してくれました。日本では議会の中でも、共産党ということの有形・無形の差別を経験してきた

私には、中国はいいな」と思いました。調印式は三時からなので、その間を利用して金山寺、鎮江博物館、千年古街（倉敷の美観地区のような街並み保存地区）と、駆け足で見学しました。

金山寺は、鎮江三座の一つで、焦山、北固山とともに有名です。もともと長江の流れの中に浮かぶ島でしたが、水流の変化で陸地とつながったということで、中国のスケールの大きさをまたも感じました。金山寺のある金山は、雪舟が一年半修行したと言われています。日本でも名の知れている金山寺味噌の発祥地でもあります。

鎮江博物館の裏は、昔からの街並みが保存されている古街で、すべて煉瓦を積んで出来ています。狭い坂道の両側に穴倉のような住居が並んでおり、その道を横断してロープが張られ、洗濯物が所構わずぶら下がっている風景には少々たじろぎを覚えました。この千年古街は、あのマルコポーロも歩いたと言われる町並みです。私たちが通りかかった時、三十歳くらいでしょうか、少し太り目の女性が家の前で洗濯をしていました。見ると懐かしいタライです。固形石鹸に洗濯板、懐かしいものばかりです。私たちが忘れかけている、ここでは、日本の五、六

十年前の生活の再現です。

私は、千年古街を、訪れて一番に感じたのは、大人の表情の無表情さです。それに引きかえ、子どもたちの明るいこと。狭い一坪くらいの空き地で、四、五人の男の子がこまを回して遊んでいます。いわゆるこま打ちです。きやあきやあ言いながらとても楽しそうに遊んでいました。私の兄が小学生のころ、服の袖で鼻汁をぬぐい袖口をピカピカにしながら、こうして遊んでいたのを覚えています。何もかもが、懐かしい昔の日本の風景です。

しばらく行くと門先で老女が焼き芋を売っていました。ほかほかの、中が真黄の焼き芋です。日本円で三十円出すと両手に持ちきれないほどくれました。その焼き芋のおいしかったこと。

姉妹都市調印式と

記念碑除幕式 植樹祭

調印式は、午後三時から鎮江賓館内の金山庁という大広間で行われました。鎮江市側は、周大平市長以下十数名出席。倉敷市長の中田武士、鎮江市長の周大平、両市長が協定書に署名し、無事調印式は終了しました。

式後またバスに乗り込み、宝塔山梅桜公園で記念碑の除幕と植樹をしました。梅桜公園の入り口の石段には、ゆうに百人を超すと思われる子どもたちの歓迎を受けました。子どもたちは手に手に花束（造

禰屋さんの無罪判決に向けて 禰屋さんの裁判を早く開け！と要請―倉敷民商弾圧事件から、8年半―

禰屋町子さんが倉敷にある建設会社の脱税を「ほう助」した、税理士法違反で不当に起訴されて、地裁で有罪になり、高裁で差し戻し判決が出てから、半年が経過しました。いまだに、公判が開かれていないのです。国民救援会や民商など、支援する会は月に2回、裁判長宛てに、早く公判を開けと要請行動を行っています。7月11日（月）に、101回目の要請行動を行い、裁判所前の舗道で市民に向けて、宣伝をしました。

倉敷民商が公安警察に家宅捜

花）をもち、それを打ち振り打ち振り、声を合わせて「歓迎、歓迎、熱烈歓迎」と大合唱。男の子も女の子も、赤い布のリボンをピオネール風に結んでいます。ヘアバンドをしている子、お化粧をしている子もいます。ここでも歓迎一色でした。

梅桜公園でのすべての行事を終え、ホテルへの帰路バスから眺めた太陽は、真つ赤でした。

「ここはお国の何百里離れて遠き満州の赤い夕陽に照らされて」よく祖母が歌っていた「赤い夕陽」とは、このことなのか。私はこの赤い夕陽にすっかり魅了されました（つづく）

索され、民商で働いていた三人が逮捕されたのは、ちょうど、消費税が5%から8%に増税されようとしていた時期でした。その時に、消費税増税の反対運動をしていた民商を弾圧してきたのです。なので、この事件は弾圧事件として、禰屋さんの無罪を勝ち取るために、全国運動になっているのです。毎回の要請ごとに、署名を提出して、現在、21万筆を超えています。

倉成章裁判長は早く、公判を開いて、禰屋さんの無罪を確定してほしいです。禰屋さんは、逮捕された時、428日間も勾留され、今だに、被疑者のままで、社会的に大変な困難な生活をしています。稲葉泰子



次回の新聞発送作業は
9月28日（水）午前10時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方で
す。

飼吹井内田井
犬貝河竹真坪